



水ときらめき紀の川館に 団体の来館者がありました

流水調整課

H29.08.17

紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に**キセキの杜**の皆様が見学に来られました。当事務所から流水調整課の2名が対応し、紀の川大堰の概要説明、館内外の見学案内をいたしました。

気温がぐんぐん上がり、汗をぬぐいながらの魚道観察室でも、たくさんの疑問質問をいただきました。

参加された皆様から「紀の川大堰が和歌山市民にとって、とても大切な構造物であることがわかりました。堰の必要性や役割についてもしっかり学べ、理解を深めることができました」とのお声をいただきました。

団体見学概要

日 時： 平成29年8月16日（水）

10:30 ~ 11:45

会 場： 水ときらめき紀の川館

参加人数：18名

団体名： KEGキャリア・アカデミー キセキの杜

1. 紀の川大堰概要説明、館内の見学

職員が、スライドを用いて紀の川の歴史や紀の川大堰の仕組み・役割などを説明したあと、館内の展示物のご案内をしました。

うなずきながら熱心に話を聞く、皆さんの姿がみられました。





2階操作室前では、ずらりと並び
機械設備に驚かれています。
職員の説明を聞いている様子。



3階展望デッキで、紀の川と紀の
川大堰を一望して、大堰をバック
に記念撮影をしました。

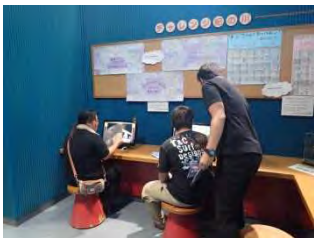
2. 館外の魚道見学

見学日は川の水量が多く、呼び水ゲートを流れる水音がゴォーと響いていました。

一部可動式の階段式魚道や緩やかな流れを見事に作り出している人工河川式魚道に、皆さんは様々な工夫を感じられていました。



3. 自由見学



最後の自由見学では、
思い思いに館内を廻ら
れました。

アンケートにご協力いただき、
ありがとうございました。



質問

Q1. 台風の後など、ゲートの辺りにゴミや流木がたまっていることがありますが、どうやって取っているのですか？

A1. 基本的に、それらを取り除く作業はおこなっておりません。流量調節ゲートや呼び水ゲートから自然に流れていくのを待つこととなります。

Q2. 紀の川大堰の上下流にある小さい建物はなんですか？

A2. 水質や水位を常時調査観測している場所で、「量水塔」といいます。紀の川大堰の上下流に2つずつ、計4つ建っています。